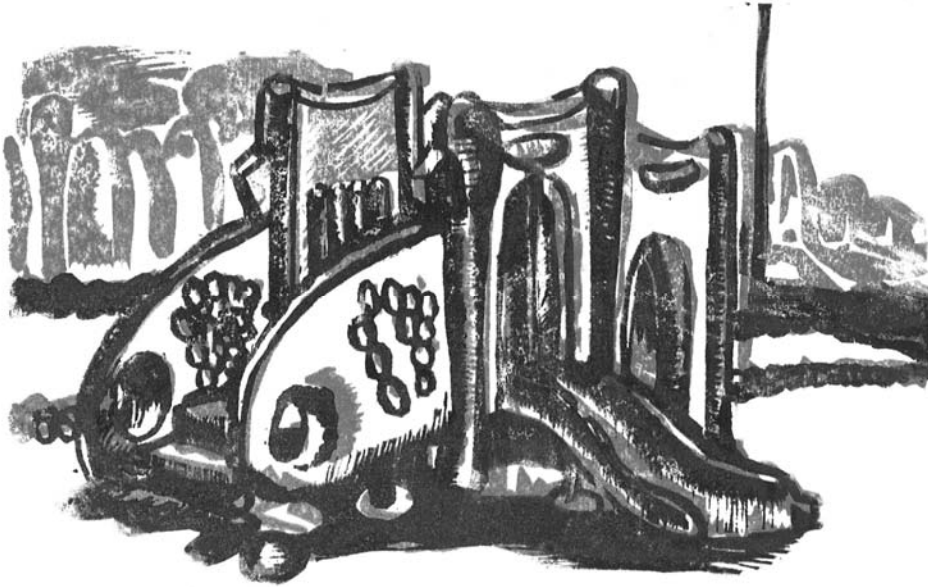


# いたちかわらばん

通刊 78 号 鮎川・狹川 / 川原番・瓦版, 18 春号



【版画 宗森英夫】

六反町公園の遊具

## いたち川沿いの公園

柏尾川との合流点からいたち川を上流に向かうと、川沿いには公園や広場が数多くあります。いたち川公園(現在閉鎖中)、笠間町公園、新橋(にいし)公園、花の木公園、海里橋公園、少し離れたところには中坪公園、中野町左近公園があり、本郷小学校より上流のふるさと区間には、扇橋の水辺、稲荷森の水辺、坊中の水辺、石原の水辺等があります。扇橋の水辺の中には、上記の版画の「六反町公園」があり遊具やトイレが設置されています。この名前の由来は周辺の字名(あざ名)が付けられています。いたち川の辺(いふち)橋上流は高い塀に囲まれた「證菩提寺」領域でその下流といたち川右支川の間にあつた田んぼが六反であつたことかと言われています。

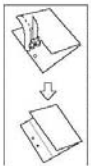
全国には田んぼの広さから地名となっているものが多く、東京の「五反田」が有名ですが、公園の名前で探すと、二反田、三反田……九反田まで全国には数多く使われており、二反田、四反田公園は隣の港南区の谷戸にあつた小さな田んぼの名残であるように思われます。

「反」は面積を表す単位で、一反は約三百坪ですから、六反は約6,000㎡とすると、当時の谷戸の田んぼにしては大きかつたのではないかと思います。現在の扇橋の水辺が約10,000㎡ですから想像してみてください。

いたち川沿いには多くの公園がありますから川沿いの散歩と公園の名前の由来などを調べながら公園めぐりをするのも楽しいと思いますのでおいで下さい。

(水・人・子)

この部分を切り取ってファイルにすると便利です



## 《いたち川の桜ライトアップ》区役所周辺

桜区役所周辺の《いたち川桜ライトアップ》は3月23日(金)から実施されます。区役所、本郷台方面にお越しの折には、いたち川のお花見ウォーキングをぜひお楽しみ下さい。

栄土木事務所発行の「さかえく公園百景」から公園の桜をご紹介します。亀井公園、小山台一丁目公園、飯島町久保公園、本郷ふじやま公園、中野町左近公園、千秀公園、桂台第一公園など。お花見にいかがでしょうか。

## 栄区内の市民の森愛護会及び森づくりボランティアの交流会が開催されました

3月2日に9団体、約30名による交流会が開催されました。交流会には、当該団体に属するOTASUKE隊メンバーも4人出席しました。

交流会は2部編成となっていて、第1部は区役所で、各団体からの活動紹介や区が実施した森や自然のPR事業についての意見交換を行いました。

第2部では、会場を小菅ヶ谷北公園へと移し、30年以上公園の管理に携わる講師の方から樹木の伐採方法等についてのお話を伺いました。講義の中で、園内にある谷戸池を観察していたところ、湿地の茂みの奥から鳥が鳴くような声が……。その正体はヤマアカガエルなどで、谷戸池を整備したら棲み付いたそう。みんなでカエルの鳴き声に感動し、交流会は閉会しました。(水・人・子)

## 読者からのたより

“いたちかわらばん”いつも楽しみに読んでいます

草花や樹木は四季を忘れずに花が咲き、秋には実を付けて他の生き物たちの食べ物になり、また染料や山菜等人間の生活に役立っているものやアシなどの植物は水を浄化する作用がある事等……あらゆる自然界からの恵みを受けて日々の生活を過ごしている事に気が付きました。野草観察会等で説明を聞いて雑草にも名前があり、なるほどと思う事ばかりです。昨年、荒井沢へヤマユリ観察に行きました。あちらこちらに真っ白い大きなヤマユリが咲いているので皆さん感動でした。

地元の愛護会の皆さんが草刈りをしたり、手入れをされているからこそ、豊かな草花、野草の宝庫になっているのですね。また、春に訪れたときは白い花のニリンソウが群生し、可憐なお花に心も癒されます。

綺麗な川や自然環境を守っていくのには人の努力があることを知り得ました。

(かわらばんの読者より)

※いたち川にはそれぞれの愛護会に多くの人が関わっています

## おことわり

前号で「いたち川情報マップ」の紹介をすることにしていたましたが次号以降に掲載致します。(水・人・子)

## ☆初夏ウォーキング募集☆

“ジャケツイバラ”花を見に行こう”

日時:平成30年5月22日(火)

ジャケツイバラの花は鮮やかな黄色でシャンデリアを逆さにしたような花序が葉の上に連立している様は、素晴らしい情景です。地域によっては、この植物が激減していることで絶滅危惧種に指定されています。区内では、唯一の保護された花木です。

天神橋 9:47(上之行)→桂山公園バス停 10:00

→(徒歩)荒井沢市民の森内を散策→皆城山山頂

→ジャケツイバラ鑑賞→荒井沢溜池後→極楽広場

(昼食・解散)(昼食は自由です)

※雨天中止。中止の場合は、前日ご連絡します。

集合場所:桂山公園バス停 10:00

参加費:100円(保険料等)

持ち物:飲み物、雨具(昼食)

参加人数:20名(先着順)

参加要領:参加希望者は、葉書、メール、FAXで

住所・氏名・性別・電話番号を明記の上、

平成30年4月27日(金)までに下記に応募

して下さい。(当日消印有効)

応募先:〒247-0005 栄区桂町 303-19

(電話) 894-8161 (FAX) 894-9127

(アドレス) sa-kikaku@city.yokohama.jp

栄区役所区政推進課企画調整係担当

※内容については、和久井(いたち川 OTASUKE 隊、080-3498-0552)まで



(ジャケツイバラ)

## 発行: 狹川 OTASUKE 隊 (いたちがわおたすけたい)

OTASUKE隊事務局:栄区役所区政推進課企画調整係

〒247-0005 横浜市栄区桂町 303-19

TEL 045-894-8161 FAX 045-894-9127

栄土木事務所下水道・公園係

〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-6-1

TEL 045-895-1411 FAX 045-895-1421

(お便り・お問い合わせはこちらまで)

発行年月

2018年3月

通刊78号

※いたちかわらばんは、4か月に一度、年3回発行しています。

## 小学校の総合学習



### ☆上郷小学校☆

横浜市立上郷小学校の3年生は、昨年度に引き続き、総合的な学習の時間で「いたち川」について学んでいます。社会科のまちたんけん、いたち川に出会い、興味をもち、たくさんのはてなにぶつかり、調べたり考えたりのところ。そこで、いたち川 OTASUKE 隊の方に学校に来ていただき、いたち川の歴史や生き物についてお話していただきました。子どもたちは、自分たちがいたち川に行った経験と、お話を結びつけながら考えたようです。

〈子どもたちの感想から〉

- アオサギのようにめずらしい生き物やヤマカガシのように気をつける生き物など、いたち川にはいろいろな生き物がいるんだと思いました。
- わたしは、いたち川にいっぱいの花や動物がいることを知りました。わたしはいたち川の事は、前から好きだけど、わくわくに聞いて、前よりもっと好きになりました。
- 川にすんでいる魚がわかったし、いたち川にごみや葉っぱを捨てちゃだめだというルールがわかった。
- とくにびっくりしたのは、いたち川がきれいになると、いろんな虫がでてきたり、いたち川がにぎやかになる事です。
- 昔にくらべて、川が広がったから、生き物もたくさん来るようになって、川も遊びやすくなって、きれいな川ができてよかった。
- 「生き物は川のそうじ屋さん」が、心に残っています。
- いたち川へ行ったらたくさん私の知らない花や葉があったけれど、危険な動物や危険な魚もいることがわかりました。
- なぜ、いたち川に生きる生き物を大切にするのか。それは「川にいる生き物の中に、おそうじ屋さんがいるからです。」ということを教えてもらい、びっくりしました。
- いたち川が「出で立ち川」から名前がついたと知って、びっくりしました。
- しぜんの中でくらす、生きている生き物やしょくぶつがそだっているのを聞いて、しぜんの川などがひつようなんだなと思いました。しぜんが大切ということがわかってよかったです。
- いたち川には何の魚が多くて、何の魚が少ないのかなど詳しく知りたかったです。
- 私は話を聞いていたち川の魚や川の名前を知りました。もっといっぱいいたち川のことを知って知らない人に教えてあげたいです。
- わたしは話を聞いて、生物には大切なものと、少し厄介な生き物もいることがわかりました。詳しくなって、みんなにいろんなことを教えてあげたいです。
- いたち川には何種類の魚や鳥がいるのかももっと知りたくなりました。



(教諭 村田 恵・鶴 舞衣子・館 浩子)

### ☆庄戸小学校☆

横浜市立庄戸小学校の3年生は、総合的な学習の時間で「いたち川」について学んでいます。まず、川でおいきり遊び、川の楽しさや生き物を肌で感じることから学習を始めました。いたち川には、たくさんの魚や貴重な植物などが生息していることに驚き、もっと知りたい気持ちが増してきた子どもたちでした。

さらに学習を深めていくために横浜市の出前授業やいたち川 OTASUKE 隊の方との出会いを企画しました。「どこから流れてきてどこへ向かうのか」「いたち川の名前の由来」など川についてたくさん教えていただきました。

〈子どもたちの感想から〉

- ◆川遊びをして◆
- 川あそびは、とても楽しかったです。
- いたち川にエビがたくさんいて、びっくりしました。
- 川が冷たくて、とても気持ちがよかったです。
- いたち川でヌマエビがたくさんいて驚きました。
- 60cm ぐらいの鯉がいることを初めて知りました。
- ホトケドジョウという魚がいることを初めて知りました。



〔子どもたちの図鑑〕

- 図鑑作りをして□
- いたち川が「出で立ち川」から名前がついてたと知って、びっくりしました。
- 自分が作った図鑑が学校の図書室に飾られるのがうれしいです。
- 道路局の方や和久井さんのお話を図鑑にまとめることができてうれしいです。
- いろいろな魚の名前や種類が分かってよかったです。
- いたち川にいる魚の特徴を知ることができてうれしかったです。

◆いたち川への思い◆

- いたち川のゴミ拾いなどに参加して、これからもいたち川をきれいにしていきたいです。
- いたち川にいる魚やいたち川にやってくる動物、川に生息する植物のためにきれいにしていきたいです。
- いたち川を大切にしていきたいです。

自分たちが住んでいる地域や学校のそばを昔から流れている川。川遊びから始まり、川を知り尽くしているプロの方との出会い、そこから学んだことを図鑑にまとめ、これからも大切にしていきたいという思いが表れてきました。子どもたちが、かけがえのないいたち川に愛着をもち、いつまでも関わり続けてほしいと願っています。

(教諭 中原 園子)

## 荒井沢の湧き水

荒井沢市民の森は、栄区南部に位置し、南側の稜線で鎌倉市に隣接し今泉北自然環境保全地区および円海山北鎌倉近郊緑地保全地区に連なっています。

地形的には、三浦半島に続く山地性丘陵地の一角を占め、いたち川左支川(洗井沢川)の水源となつています。湧水の箇所を調べてみると北側斜面が多く、土取り跡の奇観な20mの断崖からはほとんど見られません。特に皆城山の山頂付近から一年中枯れることのない湧水があることには驚きました。



この地層を研究している地質学会誌によると、荒井沢は200万年前には海底にありその後、隆起して現在のようない地形になり、地層をよく観察すると厚い砂の層(軟らかい10cm位)と薄い泥の層(硬い5cm位)がサンドイッチのように何層にもなっていることは、深深(しんしん)と泥が溜まるころにこう言った土石流が流れ込んできた砂が溜まったもので、今泉砂礫(さきき)岩層と呼ばれています。

軟らかい砂の層から多くの貝の化石があり、この化石の中の多くは、シロウリ貝です。

現在でもシロウリ貝は相模湾の海底(相模トラフ)1,000m付近に生息して、海底から湧き出るメタンや硫化水素を養分としています。

荒井沢のシロウリ貝はアケビ貝の種類で、一緒に出てくる他の貝は海底の浅い所に生息している種類なので、地殻変動で浅い海底から深い所に一気に流れ下り堆積や隆起などの地殻変動が繰り返されて現在地表に露出されたと考えられています。

次に不思議なことは、山頂付近で湧水があることです。が、栄区内では荒井沢市民の森だけでなく横浜自然観察の森でも山頂付近にホタル池に湧水があり、地層をよく観察すると、今泉砂礫岩層の褶曲(しゅうきよく)や断層などの地殻変動によって山頂部分に露出して湧水があると推測されています。

こうした地殻変動の要因は、地震や津波、台風や洪水などであると考えられていますが地層だけを見てその要因を特定することは至難の業です。



寒い日には、岩肌より滴る湧水が凍ったつららは素晴らしい情景です。

(草本 勝次)